



1月15日

部員	111名	入会		退会	
U12	25名				
U11	26名				
U10	22名	比嘉 颯太	(白川)		
U9	10名			森寛光	(神の谷)
U8	15名				
U7	13名				



今回は普段選手たちを指導している時に発している言葉の重みについて、考えさせてもらう出来事がありました。

あるOBから、あの時コーチに言うってもらったことが頭に残っていると、感謝の言葉をもらいました。私は何を伝えたか覚えていませんが、その選手の心に残る言葉を伝えることができていたんだと、嬉しくおもいました。これからも、選手の心に響く声掛けができるように、指導に携わっていけたらと思います。

5年生コーチ 榎原祥太



30年前の1月17日

1月12日曜日に東落合小開放の行事として16人のお友だちといっしょにサッカーを通して体を動かすことの楽しさを味わう機会がありました。運動が得意な子が、苦手な子のサポートをする姿がありました。ときには自分の“楽しい”を横においておき、誰かの助けになることがサッカーでも日常の中でも必要になります。「“楽しい”を横に置いたとき、自分にどんな得なことがあるのでしょうか？」そこには、サポートを受けた方の笑顔や達成感があると思います。そのために自分のプレーが役立つのであれば・・・

30年前の1月17日5時46分。地震による死者の数は6434人。あの時、子どもたちも必死にみんなのために自分の楽しいを横においてサポートをしていました。水を運ぶ、おにぎりを配る、足の不自由な人に手をかす、道が分からない人に道を教えてあげる・・・そして、かえてくる最高の言葉“ありがとう”とすてきな笑顔。たくさんの方が、あの時の苦しみやつらさの中にいくつかの最高の思い出をもっています。それは、周囲からのサポートのはずです。神戸にとって特別な1月17日、ぜひお家で防災セットの確認だけでなく、人と人のつながりの大切さを感じたときのこと、サポートのことを話してほしいです。



監督 U8コーチ 有持哲治



「サッカーを通じて子どもたちに笑顔を♪」
【手をかけ過ぎず、眼をかけて】
大切な子どもたち！まずは健康第一！育てて成長
声かけ励まし支えあいましょう！
『子は宝 他人も我が子 地域の子』
代表BGM 藤井さち代

